

## 学位論文審査の結果の要旨（課程）

学位論文審査申請者氏名	松澤 優樹
学位論文名	都市湧水河川におけるホトケドジョウの生息場特性と種間関係の定量評価

学位論文審査終了年月日	学位論文審査の結果
令和 5 年 1 月 17 日	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 10px; margin-right: 10px;">合 格</span> <span>・ 不 合 格</span> </div>

学位論文審査の結果の要旨は次ページ以降（別紙記載要領により作成のこと。）

学位論文審査委員	主査（自署） 福田 信二	副査 齋藤 広隆
	大澤 和敏	守山 拓弥
	前田 滋哉	

※平成 31 年 4 月入学    農業環境工学専攻    農業環境工学大講座		
学位論文審査申請	令和 4 年 11 月 29 日	
学位論文審査委員の選出	令和 4 年 12 月 12 日	
学位授与の可否の議決（可・否）	令和 5 年 3 月 1 日	

## 学位論文審査の結果の要旨

松澤 優樹

本研究では、都市湧水河川の矢川におけるホトケドジョウのマイクロハビタットおよびリーチスケールでの生息環境調査の結果をランダムフォレストで解析し、同種の生息場特性と他魚種との生息場利用における種間関係を定量的に評価した。

マイクロハビタットスケールでの生息場特性評価では、高流速域での生息場ポテンシャルの増大が確認され、大礫や中礫、水生植物によって形成される局所的な緩流域の重要性が示唆された。また、仔稚魚から成魚までの6段階の全長区分ごとに生息場特性を評価した結果から、成魚と未成魚では、重要な生息環境要因や水深や流速、植生被度などの生息環境条件が異なっていることが明らかになった。

リーチスケールの生息環境調査の結果から、矢川に優占する4魚種の共存パターンに関する多クラス分類によって、ホトケドジョウが国内外来魚であるカワムツやタカハヤ等の他魚種と共存する場合の生息場特性を定量評価した。その結果、本種は他の魚種と比較して、単独で出現することが多く、他の遊泳魚の生息環境条件の周縁部の浅水域を利用している可能性が示唆された。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士(農学)の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。